|  |  |
| --- | --- |
| 社会科　　３年Ａ組　　　　　　　令和５年１１月１７日（金） | |
| 単元名 | 国民の生活と政府の役割 |

C グループ

安芸高田市立高宮中学校

北広島町立千代田中学校

三次市立君田中学校   
庄原市立庄原中学校

広島県立広島特別支援学校

**１　単元について**

【単元観】

本単元は，中学校学習指導要領第２章第２節社会の公民的分野の内容項目「Ｂ私たちと経済」の中項目「(2)国 民の生活と政府の役割」の内容にもとづいている。公民的分野の目標は，「現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり、解決したりする活動を通して、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で、民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。」とされている。この「現代社会の見方・考え方」とは、「社会的事象を、政治、法、経済などに関わる多様な視点（概念や理論など）に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択と判断に資する概念や理論などと関連付けること」と考察する際の視点や方法として整理されている。この「よりよい社会の構築」の視点から、公民的分野全体にかかる本質的な問いとして、「私たちがより幸せな暮らしを送るために大切な事は何か」という問いを設定した。→公民的分野

また、本大項目では経済に関する単元を取り扱うため、「私たちがより幸せな暮らしを送るために大切な事は何か」という本質的な問いについて、経済的視点から考察していく。→経済的分野

前単元（Ｂ１）では，身近な消費生活を中心に，経済活動の意義を理解させるとともに，価格の働きに着目させ て市場経済の基本的な考え方について理解させたい。また，現代の生産の仕組みのあらましや金融の働きについて 理解させるとともに，社会における企業の役割と社会的責任について考えさせていく。その際，社会生活における 職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法などの 学習内容と関連づけて考察させる。→Ｂ１で力をつけたいこと

本単元（Ｂ２）は，身近な社会資本や公共サービスについて，市場の働きに委ねることが難しい財やサービスを 提供するという政府の経済的な役割について考えさせることをねらいとしている。また，財政や税金の役割，現在 の日本の財政の課題に関心を持たせるとともに，急速に少子高齢社会が進行する中，社会保障と財政の在り方など， 財源の確保と公平な配分の視点から考察させる。そして近い将来，納税者となる生徒にとって社会保障制度や年金 制度，税制度の改革などは直接関わってくる問題であることから，主体的にこの問題を考えさせていくが重要であ ると考える。税制度と社会サービスの在り方については，賛成と反対の両面があることから，対立と合意，効率と 公正などの視点から多面的・多角的に考察することができる単元である。→Ｂ２で力をつけたいこと

本小単元において，学習指導要領には、「財政及び租税の役割について、財源の確保と配分という観点から、財政の現状や少子高齢社会など現代社会の特色をふまえて、財政の持続可能性と関連付けて考察し、表現させること」としている。そのため租税とは、政府の経済活動である財政を持続的に行い、富を再分配していくために必要なものである。そこで、本小単元の指導においては、市場経済に委ねられない諸問題を基に，国や地方公共団体が果たしている役割や財政及び租税の役割について理解させたい。また，様々な公共サービスは税金によって賄われていることを理解させると同時に，納税の大切さにも気付かせたい。→小単元で力をつけたいこと

【生徒観】

本学級で実施した１学期の授業アンケートでは，「社会の授業の中で分かった，できたと感じる」という項目に 対して，肯定的な回答をした生徒の割合は 95.6%であり，「社会の授業を意欲的に受けることができる」という項目 に対して，肯定的な回答をした生徒の割合は 91.3%であった。このことから，学級の大部分の生徒が授業をおおむ ね理解しており，意欲的に授業を受けているということが分かる。また，「ペアやグループなど，複数で学習する 方がよく分かる」という項目に対して，肯定的な回答をした生徒の割合は 91.3%であり，協同学習が事象の理解に つながると感じる生徒が多いことが分かる。

一方で，「分かりやすいと感じるのはどのようなときか」という項目に対して，「資料を活用して思考をしたり，説 明を聞いたりするとき」という回答が多く見られた。すなわち，資料の読解を通した学習が，生徒の理解を促して いるということが分かる。

【指導観】

学習過程では，日本の財政についての課題を少子高齢社会などの現代社会の特色や，諸外国の税制度などと関連 付けて，多面的・多角的に考察させる。その際，一人一台端末を活用して，自分の考えの根拠となる情報を収集さ せることで，より客観的に財政についての課題を捉えられるようにしたい。そして，これからの日本の財政の在り 方について，効率と公正，持続可能性，希少性などに着目して，根拠を基に構想し，表現できるよう指導したい。

本単元では，複数の資料から必要な情報を読み取ったり，資料を自分の思考や説明の根拠としたりする学習を通 して，生徒のより深い理解を促すことを目的とする。その際，資料から読み取れる情報や考えられることなどを丁 寧に整理することで，読み取った事実のファクトチェックを行い，その事実をもとに予想されることや考えられる ことを分析することができるよう留意する。

|  |  |
| --- | --- |
| 本質的な問い | **私たちがより幸せな暮らしを送るために大切なことは何か。** |
| 中項目を貫く問い | **水道料金を民間企業に完全にゆだねることができるのか。** |
| 単元を貫く問い | **国の税の決め方はどうあるべきか。** |
| 個別の問い | ① 国や地方公共団体が果たすべき役割は,何だろうか。  ② 社会保障は，どのような制度だろうか。  ③ 社会保障制度の維持には，何が必要だろうか。  ④ 財源は，どのように確保しているのだろうか。  ⑤ 国の税の決め方は，どうあるべきか。 |

**２　単元の目標**

◯　身近な消費生活を中心に経済活動の意義，市場経済の基本的な考え方，現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解する。また勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。また，社会資本 の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢化における社会保障の充実・安定化，消費者の保護，財政及び租 税の意義，国民の納税の義務について理解する。 【知識及び技能】

◯　市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割，財政及び租税の役割につ いて多面的・多角的に考察し表現する。 【思考力，判断力，表現力等】

◯ 我が国の経済や国民の生活と政府の役割について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関 ろうとする。 【学びに向かう力，人間性等】

**３　単元の評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ア　知識・技能 | イ　思考・判断・表現 | ウ　主体的に学習に取り組む態度 |
| ①身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解している。  ②市場経済の基本的な考え方について理解している。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。  ③現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。  ④勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神を理解している。  ⑤社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢化における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解している。  ⑥財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解している。 | ①個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現している。  ②社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現している。  ③市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察，構想し表現している。  ④財政及び租税の役割について，多面的・多角的に考察し表現している。 | ①我が国の経済について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関ろうとしている。  ②国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 |

**４　指導と評価の計画（全２９時間）**

（◯…「評定に用いる評価」，●…「学習改善につなげる評価」）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | 知 | 思 | 態 | 評価規準 | 評価方法 |
| １ | **【本質的な問い】　私たちがより幸せな暮らしを送るために大切なことは何か。**  **【単元を貫く問い】なぜ，回転寿司の値段が上がっているのか。**  ・単元を貫く問いについて予想をたて，単元の学習に関する見通しをもつ。 |  |  | ● | 我が国の経済について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関ろうとしている。【ウ－①】 | 観察  ワークシート  自己評価表 |
| ２ | ・消費生活と経済との関わりについて理解する。 | ● |  |  | **【小単元を貫く問い】自立した消費者とは，どのような消費者なのか？**  身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解している。【ア－①】 | 観察  ワークシート |
| ３ | ・様々な契約の事例や決済方法を通して，よりよい消費生活について理解する。 | ● |  |  | 身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解している。【ア－①】 | 観察  ワークシート |
| ４ | ・消費者に保障されている権利や果たすべき責任について理解する。  ・自立した消費者になるために必要なことについて考察する。 | ● | ● |  | 身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解している。【ア－①】  個人や企業の経済活動における役割と責任について，多面的・多角的に考察し，表現している。【イ－①】 | 観察  ワークシート |
| ５ | ・商品がどのように消費者の元に届くか，仕組みについて理解する。  ・流通の合理化がもたらす影響について考察する。 | ● | ● |  | 身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解している。【ア－①】  個人や企業の経済活動における役割と責任について，多面的・多角的に考察し，表現している。【イ－①】 | 観察  ワークシート |
| ６ | 小単元を貫く問いについて，自分の考えをまとめる。 | ○ |  | ● | 身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解している。  【ア－①】  我が国の経済について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関ろうとしている。  【ウ－①】  **【小単元を貫く問い（まとめの例）】**  **消費者は，生産者や販売者に比べて不利な立場に置かれている。そのため，様々な消費者問題が起こっている。消費者の地位向上には国や地方公共団体による対応も必要だが，クーリング・オフなど消費者自身が正しい知識や制度を活用して，自らの生活を送ることが必要であるから。** | 観察  レポート |
| ７ | **【小単元を貫く問い】なぜ，働き方が多様化しているのか？**  ・生産活動のためにどのような要素が必要なのか，理解する。 | ● |  |  | 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。  【ア－③】 | 観察  ワークシート |
| ８ | ・企業にはどのような種類があるかについて理解する。 | ● |  |  | 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。  【ア－③】 | 観察  ワークシート |
| ９ | ・株式会社の仕組みについて理解する。 | ● |  |  | 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。  【ア－③】 | 観察  ワークシート |
| 10 | ・労働者が働く意義と労働者を守る仕組みについて理解する。 | ● |  |  | 勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神を理解している。【ア－④】 | 観察  ワークシート |
| 11 | ・現在の雇用形態はどのように変化しているのか，理解する。 | ● | ● |  | 勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神を理解している。【ア－④】  社会生活における職業の意義と役 割及び雇用と労働条件の改善につ いて多面的・多角的に考察し，表 現している。【イ－②】 | 観察  ワークシート |
| 12 | 小単元を貫く問いについて，自分の考えをまとめる。 | ○ |  | ● | 勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神を理解している。【ア－④】  我が国の経済について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関ろうとしている。【ウ－①】  **【小単元を貫く問い（まとめの例）】**  **経営者と比べると，労働者は弱い立場にあるため，国は，法律や労働組合などの仕組みを整えながら，労働者を守っていく必要がある。労働者の権利を保障することは，ワーク・ライフ・バランスを実現するために必要なことであり，その実現に向けて，多様な働き方が求められているから。** | 観察  ワークシート  自己評価表 |
| 13 | **【小単元を貫く問い】なぜ，銀行が必要なのか。**  ・市場経済における価格の決定について理解する。 | ● |  |  | 市場経済の基本的な考え方について理解している。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。【ア－②】 | 観察  ワークシート |
| 14 | ・なぜ企業の独占を禁止しているのか，表現する。 |  | ● |  | 個人や企業の経済活動における役割と責任について，多面的・多角的に考察し，表現している。【イ－①】 | 観察  ワークシート |
| 15 | ・金融の仕組みと働きについて理解する。 | ● |  |  | 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。  【ア－③】 | 観察  ワークシート |
| 16 | ・銀行の仕組みと働きについて理解する。 | ● |  |  | 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。  【ア－③】 | 観察  ワークシート |
| 17 | ・日本銀行の金融政策について，景気の変動と関連付けて考察する。 |  | ● |  | 個人や企業の経済活動における役割と責任について，多面的・多角的に考察し，表現している。【イ－①】 | 観察  ワークシート |
| 18 | ・為替相場の変化の影響を理解する。 | ● |  |  | 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。  【ア－③】 | 観察  ワークシート |
| 19 | ・小単元を貫く問いについて，自分の考えをまとめる。 | ○ | ○ |  | 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。  【ア－③】  個人や企業の経済活動における役割と責任について，多面的・多角的に考察し，表現している。【イ－①】  **【小単元を貫く問い（まとめの例）】**  **銀行は，お金が余った人とお金が足りていない人の橋渡しをすることで，生産や消費が効率よく活発に行われるようにする役割を果たしている。そのため，銀行は必要である。** | 観察  ワークシート |
| 20 | ・単元を貫く問いについて，これまでの授業を振り返り，自分ができることを含めて単元のまとめを行う。 |  | ○ | ○ | 個人や企業の経済活動における役割と責任について，多面的・多角的に考察し，表現している。【イ－①】  我が国の経済について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関ろうとしている。【ウ－①】  **【単元を貫く問い（まとめの例）】**  **企業は，限りある資本で消費者や円安などの国内外の影響を受けながら，その中でモノを生産しているため，回転寿司の価格が上昇している。また，ワーク・ライフ・バランスを導入したことで生産コストがかかるようになった。そのため，企業はコストが上がり，消費者はその状況について理解を示しているため，需要と供給の関係で合意形成が図られ，価格が上昇しているから。** | 観察  ワークシート  自己評価表 |
| 21 | ・単元を貫く問いについて予想をたて，単元の学習に関する見通しをもつ。 |  |  | ● | **【単元を貫く問い】水道料金を民間企業にゆだねることができるのか。**  国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。【ウ－②】 | 観察  ワークシート |
| 22 | **【小単元を貫く問い】国の税の決め方は，どうあるべきか？**  ・財政のしくみについて理解する。 | ● |  |  | 財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解している。  【ア－⑥】 | 観察  ワークシート |
| 23 | ・人間らしい生活を保つためのしくみを理解する。 | ● |  |  | 社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢化における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解している。【ア－⑤】 | 観察  ワークシート |
| 24 | ・少子高齢化が進む日本において，社会保障制度の今後の在り方を考察する。 |  | ● |  | 財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し表現している。【イ－④】 | 観察  ワークシート |
| 25 | ・財政を行うための財源について理解する。 | ● |  |  | 財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解している。  【ア－⑥】 | 観察  ワークシート |
| 26 | ・小単元を貫く問いについて，多様な資料をもとに，他者と議論して，自分の考えを深める。  **【本時】** | ○ |  | ●  **【小単元を貫く問い（まとめの例）】**  **※本時案で明記** | 財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解している。  【ア－⑥】  国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。【ウ－②】 | 観察  ワークシート |
| 27 | **【小単元を貫く問い】四大公害病が五大公害病になる日はくるのか。**  ・環境保全と経済成長の両立のためになされている取り組みについて理解する。 | ● | ● |  | 社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢化における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解している。【ア－⑤】  市場の働きに委ねることが難しい 諸問題に関して，国や地方公共団 体が果たす役割について多面的・ 多角的に考察，構想し表現してい る。【イ－③】 | 観察  ワークシート |
| 28 | ・持続可能な社会を創るために，経済はどのような役割を果たすべきか，豊かさに着目して考察する。  ・小単元を貫く問いについて，自分の考えをまとめる。 | ○ | **【小単元を貫く問い（まとめの例）】**  **市場の働きに委ねることが難しい問題において，政府の介入が少なかったため，公害が発生した。現在は，国や地方公共団体が法を定め，積極的に介入しているため，第五の公害病は発生していない。** | ● | 社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢化における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解している。【ア－⑤】  国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。【ウ－②】 | 観察  ワークシート |
| 29 | ・単元を貫く問いについて，これまでの授業を振り返り，自分ができることを含めて単元のまとめを行う。 |  | ○ | ○ | 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察，構想し表現している。  【イ－③】  国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。  【ウ－②】  **【単元を貫く問い（まとめの例）】**  **水道料金は民間企業に委ねることができないと思う。理由として，水道は生活と密接な関係にあり，市場の働きに委ねてしまうと，公害やインフラ整備の不備などの問題が起こる。行政が関わることで，財政の働きにより整備が行われ，より安全安心な生活が実現できるからである。** | 観察  ワークシート  自己評価表 |

**本時の学習**

（１）本時の目標

架空の国「A国」と「B国」それぞれの税率の違いをふまえ，大きな政府と小さな政府のどちらが現在の日本社会に合致するか資料をもとに考察し，表現することを通して，各国の状況や目指すべき国の姿を考えながら，税制度が決められているということが理解できる。

（２）本時の学習展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意事項  （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て） | 評価規準  （評価方法） | ICTの活用 |
| １　前時を振り返り，課題意識を持たせる。 | | | |
| ・前時を振り返る。 | ・財政を行うための財源として，税負担があることを振り返る。また具体的な例として，生徒たちに身近な消費税という税があることを確認する。  ・高税率で社会保障等も充実している「大きな政府」，低税率で社会保障等が手薄な「小さな政府」の２種類があることを想起させる。 |  |  |
| ２　本時の学習課題を確認する。 | | | |
| ・資料①を提示する。 | ・資料から，一般的にA国が小さな政府であり，B国が大きな政府であることを確認する。  ◆電子黒板に資料映し出すことで，視覚支援を行う。  **学習課題**  **国の税の決め方はどうあるべきか？** |  |  |
| ３　課題解決のための動き | | | |
| ・複数の資料から，両国のメリットを整理する。  （集団思考）  ・日本はどちらの国を目指すべきかについて考える。  （個人思考→集団思考） | ・クラスを二つのグループに分け，A国・B国それぞれのメリットについて，資料①～④から読み取れる情報を根拠に， Jamboardの付箋機能を使って整理する。  ◆思考前に，資料から分かることや考えられることをグループで整理する。  ・整理した両国のメリットをもとに，日本はどちらの国を目指すべきかについて自分の考えとその理由を，Jamboardの付箋機能を使って整理し，グループで交流する。 | 資料①「A国とB国」  資料②「各国の消費税率」  資料③「A国・B国・日本の人口ピラミッド」  資料④「日本における高齢者負担の割合」  配布資料  **〈予想される生徒の発言〉**  ・日本は少子高齢化が進んでいく中で，今の税制度のままでは税が集まらないことが予想される。よって，A国のような小さな政府にならざるを得ないのではないか。  ・日本は人口減少が進んでおり，就業人口が減っていくことが予想される。そうなると，医療などを民間に負わせることにも限界を感じるため，B国のようにある程度は国が干渉する大きな政府を目指すべきではないか。 | 〇Jamboardの付箋を用いて，メリットを整理している。  〇Jamboardの付箋を用いて，日本はどちらの国を目指すべきかについて，自分の考えを表現している。 |
| ４　本時を振り返る。 | | | |
| ・学習課題について，自分の意見をまとめる。  （集団思考→個人思考）  ・本時を振り返る。 | ・小単元や本時での学習を踏まえ，国が税を決めるときにどのようなことを考えればよいかについて，自分の考えを表現する。  **〈B評価の生徒の解答〉**  ・各国の人口や年齢構成などを踏まえ，目指す社会保障等とそれにかかる費用を考えながら，必要な金額を見積り，税負担を決めている。  **〈A評価の生徒の解答〉**  ・各国の人口や年齢構成などを踏まえ，目指す社会保障等とそれにかかる費用を考えながら，必要な金額を見積り，高齢者や子供の納税が少額となることもふまえ，税負担を決めている。また，将来の人口や年齢構成なども予想しつつ，減税や増税を行っている。  ・振り返りシートを記入する。  **〈予想される生徒の記述〉**  ・少子高齢化が進む日本では，現在の税制度は限界がくることが予想されるため，A国のように国の仕事を最低限にする必要があると思う。  ・国は，人口や年齢構成，経済状況などをふまえて税率等を定めているのがわかった。 | ・小単元や本時での学習を踏まえ，各国の状況や目指すべき国の姿を考えながら，税制度が決められているということを理解している。（ワークシート） |  |